

県政 150 周年記念事業 基本方針

1 趣 旨

兵庫県は、多様性に富む五国から構成され、それぞれの地域がその個性を発揮し、時に連携しながら今日の雄県兵庫の姿を形づくってきた。平成 30 (2018) 年は、その兵庫県が成立してから 150 周年にあたる。

この節目の年を迎えるにあたり、県民一人ひとりが、これまで積み重ねてきた歴史や先人の偉業を振り返るとともに、本格化する人口減少・超高齢社会の中で、地域のポテンシャルを如何に引き出して、地域の持続可能性を維持していくかといった新たな課題を共有し、参画と協働により兵庫の未来を考える機会として、「県政 150 周年記念事業」を実施する。

2 基本理念

(五国・兵庫の誕生)

150 年前の慶応 4(1868)年 5 月 23 日 (新暦 7 月 12 日)、兵庫県が成立した。発足当初は散在する幕府直轄地を管轄する県であったが、その後の廃藩置県や府県統合を経て、明治 9(1876)年、摂津、播磨、但馬、丹波、淡路の五国から成る広大な兵庫県が誕生する。

歴史・文化や気候風土が異なるそれぞれの地域が、個性を発揮し、時には競い合い、時に協力し合いながら、雄県兵庫の発展を導いてきた。

(兵庫県政 100 年)

人口が右肩上がりが増加し、高度経済成長が続く中の昭和 42 (1967) 年、県政 100 年の節目の年を迎えた。このときの課題は、さまざまな分野でのストックの不足であり、その解消を目指して、県民会館やこども病院、近代美術館などの施設を整備するとともに、成長の裏返しとしての、開発による自然破壊や公害問題にも果敢に立ち向かってきた。県政 100 年を振り返る「兵庫県百年史」の編さんも行った。

(時代潮流の変化)

それから 50 年、時代潮流は大きく変わった。少子・高齢化が進展し、本格的な人口減少時代を迎えている。人口の増加や経済成長が大きく期待できない中で、社会に漂う閉塞感や不透明感を誰もが払拭できず、質的な豊かさやその実現に向けた道筋を明確に見出せないでいる。

しかし、兵庫は、県民の参画と協働で描いた「21 世紀長期ビジョン」で「創造と共生の舞台・兵庫」をめざしており、成熟への時代の転換期を切り拓くための羅針盤がある。

150 周年の節目に、あらためて参画と協働の原点に立ち戻り、これまでの歩みの中で培ってきた兵庫らしさの蓄積を見直し、それらを強みとして活かし、どのような兵庫を創っていくのかをともに考えよう。

(兵庫の強みを活かした地域づくり)

(1) 進取の気性

150年前、世界に開かれた神戸港から外国文化をいち早く取り入れてきた。私たちは、常に社会の変化を捉える進取の気性を持ち、阪神間モダニズムと呼ばれる近代的な芸術、文化、生活様式と時代の雰囲気をはじめ、一步先を見据えた地域づくりを進めてきた。

(2) 伝統や文化の継承

一方で、世界遺産にも指定された姫路城、丹波篠山デカンショ節をはじめとする各地の日本遺産、古代からの伝統を今に引き継ぐ御食国淡路など、私たちは、未来に残すべき歴史遺産や伝統文化をしっかりと守り続けることにも努め、地域の魅力を磨いてきた。

(3) 自然との共生

古くは荒廃の進んでいた六甲山の再生から、参画と協働のもとでの、自然との共生の象徴であるコウノトリの野生復帰や、環境共生型のまちづくりをめざす尼崎 21 世紀の森づくりに至るまで、兵庫は、自然環境の保全、再生、共生に取り組んできた。

(4) 交流基盤を活かした県土づくり

南北を海に囲まれた広大な県土の中で、人やモノ、情報などの交流を図るため、鉄道、道路、港湾、空港等のインフラ・ネットワークの整備を行い、県内外を繋ぐ多彩な交流基盤を築き、これを活かした県土づくりを進めてきた。

(5) 多文化共生の力

五国がひとつとなることで生まれた多様な文化を許容する寛容性は、グローバルな多文化共生の力を生んだ。兵庫には、現在、およそ 150 ヶ国、10 万人近い外国人県民が暮らしている。

(6) ものづくり産業と科学技術基盤

明治以降わが国を牽引してきたものづくり産業の集積は、航空機、医療などの最先端の産業に引き継がれ、これからも兵庫の産業を支える。また、食料品、繊維、化学・雑貨などの地場産業があり、有力な産地も多い。

SPring-8 やスーパーコンピュータ「京」などの世界有数の科学技術基盤も兵庫の強みである。

(7) 安全・安心の確保

明治以降、さまざまな自然災害に見舞われる中、被害を最小限に抑えるための取組を推進してきた。そして、私たちは、阪神・淡路大震災という未曾有の災害も経験した。懸命に創造的復興に取り組むことで、世界をリードする防災先進県となった。

高齢社会を見据えた生活の安心も含め、安全・安心の基盤はさらに兵庫を強くする。

(ふるさと意識の醸成)

これら兵庫らしい強みに誇りと自信を持つことが、ふるさとを愛する思いにつながる。そのような誰からも愛されるふるさとをこれからも作り上げ、県民一人ひとりのふるさと意識を育むことが未来の兵庫の礎となる。

(150周年を機に新たな兵庫の未来へ)

今後もこうした兵庫の財産を共有し、新しい兵庫づくりに活かしたい。多様な兵庫の魅力とふるさとへの誇りを県民一人ひとりが確認するとともに、国内外に発信したい。先駆的に続けてきた挑戦を、そのなかで培ってきた兵庫の知恵を世界に広く伝えたい。

3 基本テーマ

兵庫の強みを活かした地域づくりにより、これまで兵庫は、さまざまな人々の夢を叶える舞台となってきた。

県政 150 周年を迎えようとする今、これからも兵庫が、夢あふれ、創造と共生の舞台であり続けるため、県政 150 周年記念事業のテーマを以下のとおりとする。

【全体テーマ】

兵庫の未来を創る
～創造と共生の舞台・兵庫の実現をめざして～

【サブテーマ】

五国の魅力を磨く

- ・ 150 年の歩みの振り返り
- ・ 歴史遺産、偉人を後世に繋ぐ取組
- ・ 地域の魅力の再発見
- ・ 兵庫の先進性を再認識する取組
- ・ 地域の個性を活かす新たな拠点づくり

交流の輪を広げる

- ・ 地域内交流の拡大と充実
- ・ 五国間交流の活性化による相互理解、一体感の醸成
- ・ 兵庫の魅力の県外への発信
- ・ 世界との交流拡大

4 事業展開方針

(1) 基本的な考え方

- ① プレ事業、本事業、継続事業など複数年にわたり、全県エリアで、参加型イベントや行事を重層的に展開する。
- ② 県民・地域団体・NPO・学生グループ・企業・行政などさまざまな主体による参画と協働の実践による事業を展開する。
- ③ 150 年の歴史の中で繰り広げられてきた営みを振り返り、ふるさと兵庫を再認識し、新たな兵庫づくり、未来への飛躍の確認等を考える機会とする。

(2) 事業期間

- ・ 先行実施：平成 29 年中（平成 29 年 12 月 31 日まで）
 - ・ 本格実施：平成 30 年 1 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日（メインイベントは 7 月 12 日）
- ※ハード施設については平成 30 年度基本方針等を打ち出し、平成 31 年度以降の完成も含む

5 広報・普及啓発

(1) イベント等による機運醸成

- ・ 「ひょうご 150 スタートアップシンポジウム」(29.3)、「1 年前シンポジウム」(29.7) などの開催
- ・ プレフェスタの開催のほか、ふれあいの祭典「西播磨ふれあいフェスティバル」(29.10)、ひょうご博覧会 in 大阪 (29.11) 等での記念事業 PR

(2) 多彩な媒体の活用による広報・普及啓発

- ・ 県民モニターに対するアンケートの実施 (H29. 2～3)
- ・ 県民にわかりやすく記念事業を呼びかけるロゴマークを作成、ホームページやポスター、のぼり等で情報発信するとともに、企業や団体にもロゴマーク活用を呼びかけ
- ・ 県、市町等広報媒体や各種団体行事等における情報発信
- ・ ホームページの作成、SNS の利用など、ICT を活用した情報発信
- ・ これからの兵庫の将来を担う子ども達が、記念事業への関心を持ち、兵庫県の将来を考えるきっかけとするため、小学校、中学校、高校への階層別の普及啓発
 - － 作文・図画コンクール (小学生) (テーマ: 「ひょうごの未来」、「まちのお宝」)
 - － まんが「ひょうごの歴史」 (中学生)
 - － 県立高校で考える県政 150 周年記念事業

【県政 150 周年記念事業ロゴマーク】

<横使用バージョン>



<縦使用バージョン>



※ロゴマークを使用する媒体等に応じての使い分け

※企業・団体をはじめ、多くの皆さんに記念事業に参画いただきたくため、幅広くロゴマークの活用を呼びかける。(公序良俗に反する場合等を除き、営利目的含めどなたでも使用可(規程に基づく使用届を提出))

デザインの意図：

兵庫の「H」及び「ひ」の文字を、五国をイメージした5本の縦のラインによって表現。それぞれが独立しながらも美しい調和を保っている姿を表わす。

四方に伸びていく形状は、兵庫の”広がりゆく未来”といった意味も込めている。

6 推進体制

県政 150 周年記念事業推進協議会 [H29. 7. 12 設置]

- ・ 各分野の代表者や地域団体、学識経験者、行及び県、議会等で構成
- ・ 基本方針や事業計画などを承認

県政 150 周年記念事業企画委員会
(原案を作成するワーキングチーム)
[H29. 1 設置]

(県) 県政 150 周年記念事業推進本部 (県庁内横断組織、協議会の事務局的作用) [H29. 4 設置]